

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	26,593,035	33,469,260
決算	26,317,650	
人件費(A)	82,400	82,400
報酬(B)	255	141
年間経費(予算又は決算+A+B)	26,400,305	33,551,801

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
企業債残高(億円)	億円	1,277	目標	1,646	1,719
			実績	1,626	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・ 企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対し20億円減の1,626億円となり、企業債残高の削減が図られた。
- ・ 西遠コンセッションについては、当該方式での運営による財政効果が期待できるとの結果を得たことにより、2月29日に「特定事業の選定」を公表し、同日、「実施方針」の公表を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)		○	○		21,410,523	21,335,123	10.0		1.0	1.0	
2	浜松市下水道事業(資本的支出)			○		12,141,278	12,134,137	1.0				141
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						33,551,801	33,469,260	11.0		1.0	1.0	141

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。また、平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、民間活力を最大限に活用した効率的な管理・運営を実現する。

◇事業の概要

○下水道事業に係る経営管理
 ・持続可能かつ健全な経営の推進
 ○下水道事業に係る組織・人事管理
 ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
 ○災害対策事業
 ・部内及び他都市連携による防災訓練の実施
 ○下水道の普及啓発事業
 ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

【重点戦略項目No.100、133】
 平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者に運営を委ねる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	15,455,328	21,335,123
	決算	15,180,467	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	9,905,951	15,561,453
	一般会計繰入金	5,274,516	5,773,670
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		75,400	75,400
人工	正規	10.0	10.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
企業債残高(億円)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,646	1,719	1,615		1,277
実績値	1,626				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
職員定数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	111	113	106		105
実績値	110				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
防災訓練(研修)の実施回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	15	15		15
実績値	15				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
西遠コンセッション事業の導入					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	事業者公募開始	優先交渉権者設定	コンセッション開始		
実績値	事業者公募開始				

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○下水道事業に係る経営管理

・持続可能かつ健全な経営の推進

○下水道事業に係る組織・人事管理

・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化

○災害対策事業

・部内及び他都市連携による防災訓練の実施

○下水道の普及啓発事業

・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

【重点戦略項目No.100、133】

平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者に運営を委ねる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対し20億円減の1,626億円となり、企業債残高の削減が図られた。

・正規職員数については、事務事業の見直しなどにより、目標に比べ1人削減の110人となり、人件費の削減が図られた。

・災害や事故など不測の事態を想定した業務継続計画(BCP)を策定した。また、部内の防災訓練や他都市との連携による防災訓練などを15回の目標に対し計画通り実施した。

・西遠コンセッションについては、当該方式での運営による財政効果が期待できるとの結果を得たことにより、2月29日に「特定事業の選定」を公表し、同日、「実施方針」の公表を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)

03 06 02 01 00770100 01

(担当課)

上下水道総務課

(責任者)

上久保 明治

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
100 133	実施方針(案)公表 実施方針公表 募集要項公表	第一次審査 第二次審査 優先交渉権者決定	契約締結 事業引継	コンセッション開始

平成28年度

(管理番号)

03 06 02 01 00770100 01

(担当課)

上下水道総務課

(責任者)

上久保 明治

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道事業における企業債残高の計画的な削減に取り組み、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。平成28年4月1日に静岡県から浜松市へ移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりPFI法に基づくコンセッション方式を導入し、民間活力を最大限活用した効率的な事業運営を行う。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する口にチェック)

行政経営計画 取組番号・取組事項名 2006 下水道事業における企業債残高の削減

取組番号・取組事項名 5004 西遠流域下水道へのコンセッション方式の導入

個別計画等 計画名等 下水道事業中期財政計画(企業債残高の削減)

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	建設事業費(億円)	計画値	55.0	72.0	72.0	72.0
		実績値	51.0			
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》

・建設事業費を計画値55.0億円から51.0億円に削減し、その結果、企業債借入が抑制され残高の削減が図られた。

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	11,137,707	12,134,137
	決算	11,137,183	
	国・県支出		
	市債	2,882,900	3,144,700
	その他		
	一般財源	7,426,039	7,933,857
一般会計繰入金		828,244	1,055,580
人件費(報酬等) (千円)		255	141
人件費 (千円)		7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
企業債残高(億円)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,646	1,719	1,615		1,277
実績値	1,626				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 01 00770100

(担当課)
上下水道総務課

(責任者)
上久保 明治

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○企業債償還金

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対し20億円減の1,626億円となり、企業債残高の削減が図られた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類